

# ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」  
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H31.1.31

## 温かな「心」の発信

早いもので2019年も1ヶ月が過ぎます。子どもたちは、インフルエンザも蔓延という状況ではなく、元気に学校生活を送ってくれています。

毎朝、校長室の前で「校長先生おはようございます！」と元気にあいさつしてくれる子がいます。立ち止まって友達と一緒に、声を揃えて気持ちよくあいさつしてくれます。とても優しく純粋な表情で、毎朝心がぼかぼかな気持ちで1日がスタートします。人と人とがより良い関係を築いていくための第一歩である「あいさつ」。共栄小学校でも三本柱のひとつ「さわやかあいさつ」を広げるために生活委員会を中心に取り組んでくれています。あいさつ運動の時には、たくさんのあいさつボランティアの子どもたちが大きな声であいさつをしてくれています。そんな取組の中で、様々な刺激を受け、あいさつをすることの大切さをよく理解し、仲間に、そして先生に、地域の人に、ちゃんと場に合ったあいさつができる子がいることをうれしく思うと同時に誇りにも思います。そんな気持ちにさせてくれる子がいる共栄小学校、心から感謝です。

12月には、中日新聞のヤングアイズというコーナーに共栄小学校の6年生の子たちの文がたくさん掲載されました。

「いじめ根絶まずは身近」 「美しい自然にふれよう」 「地球から戦争をなくせる」  
「ごみなし緑あいの町に」 「資源節約自然を守ろう」 「ぎゃくたい防ぐ一歩を」  
「あいさつで未来明るく」 「差別なくし平和始まる」 「平和実現へ皆力合わせ」  
「人と関わり日々大切に」

タイトルだけでも、社会と自分の関わりについて深く考えてくれていることがわかっていただけると思います。読みながら心が温かくなりました。手本になるべき私たち大人なのですが、こんな素敵な思いが綴れる子どもたちから学び、自己を振り返り、刺激や勇気をもらうことがあります。純粋さ、誠実さ、前向きさ、協調性、正義感、公正さ、私たち大人も決して忘れてはならない大切なものです。「心温まる素敵なあいさつ」「学びと成長と共に身に付けてきた温かな考え方」

ネット上では、悲しい発信が問題になることも多い今日この頃ですが、素敵な発信をしてくれる素晴らしい子が共栄小学校にはたくさんいます。これからもそんな心やきもちを大切に、自信をもって発信していった欲しいと強く願っています。